



ソフトウェア・ツール

NetSetter

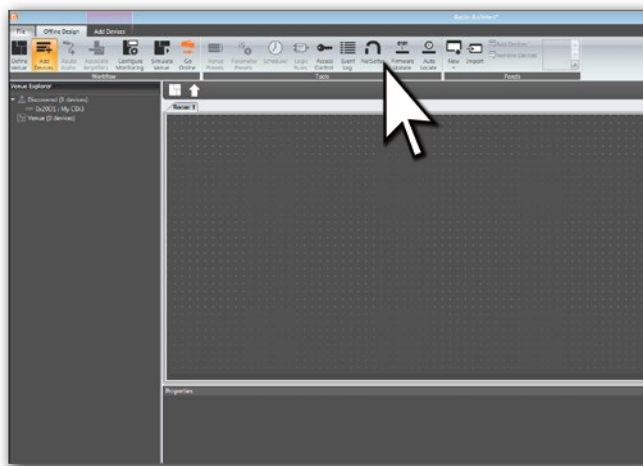
ユーザーガイド

概要

NetSetter は Audio Architect ソフトウェア内に組み込まれたソフトウェア・ツールで、Audio Architect をインストールすると自動的にインストールされます。ネットワーク上の HiQnet 対応機器を検出し、各機器のネットワーク設定をリアルタイムで更新できるため、同じネットワークに組み込む機器の競合などの問題を素早く簡単に解決できます。

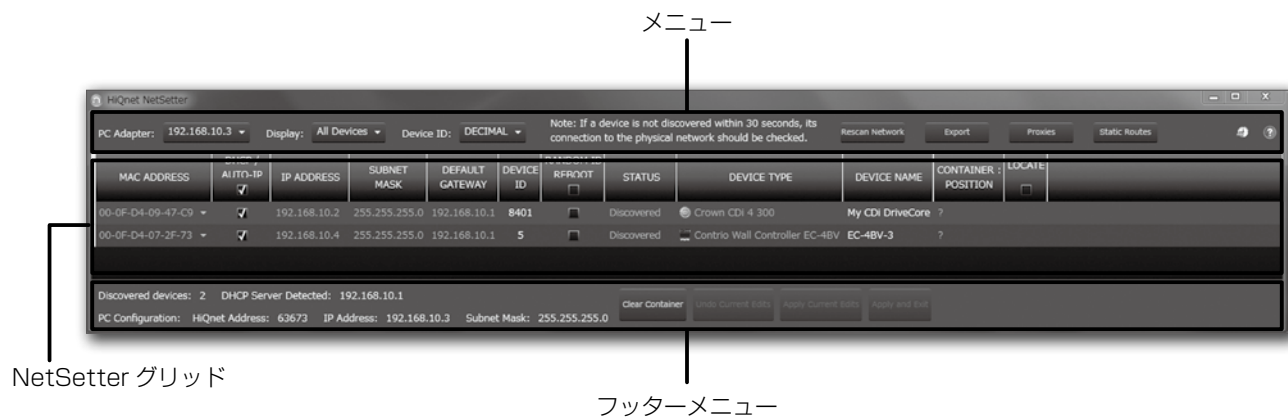
※最新の Audio Architect は <https://audioarchitect.harmanpro.com/en-US/software> からダウンロードできます。

Audio Architect を起動すると、画面上部のメニューに NetSetter の起動ボタンがあるのでクリックしてください。操作ウィンドウが開きます。

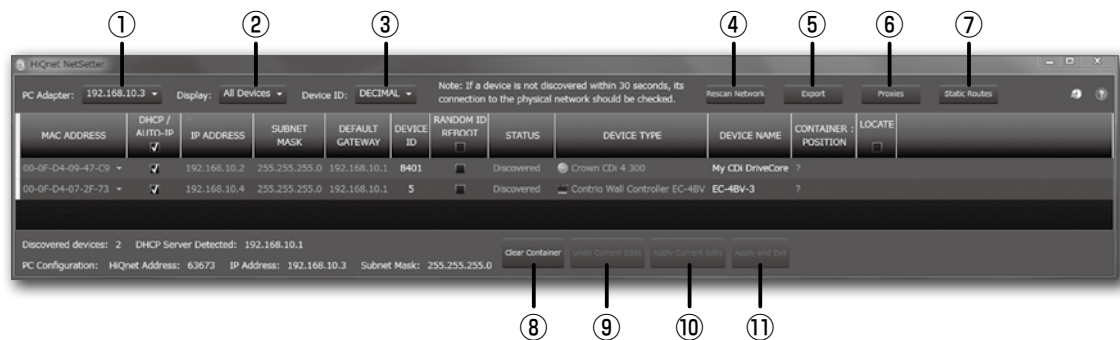


操作ウィンドウの各部の名称と機能

操作ウィンドウはメニュー / フッターメニュー、NetSetter グリッドの 2 つのパートで構成されています。



メニュー / フッターメニュー (操作ウィンドウ上部 / 下部)



① PC Adapter

NetSetter を起動している PC が HiQnet 対応機器の検出に使用する、イーサネット・インターフェースをドロップダウン・メニューで選択します。

※ PC Adapter にループバックアドレス (127.0.0.1) を指定しないでください。

② Display

NetSetter グリッドに表示する機器を選択できます。下記の表示フィルターが選択できます。

- ・ All Devices 検出された機器を全て表示します (デフォルト)。
- ・ HiQnet conflicts ... デバイス ID が競合する機器のみを表示します。
- ・ IP conflicts IP アドレスが競合する機器のみを表示します。
- ・ All conflicts デバイス ID または IP アドレスが競合する機器を表示します。
- ・ Locked Locked 設定の機器を表示します。
- ・ Discovering... 検出中の機器を表示します。
- ・ Discovered 競合のない正常な機器を表示します。
- ・ DHCP/Auto IP DHCP/AUTO-IP がオンである機器を表示します。

③ DEVICE ID (HiQnet ADDRESS)

DEVICE ID の表示を 10 進数か 16 進数のどちらかに、選択することが可能です。

- ・ DECIMAL 10 進数
- ・ HEX 16 進数

④ Rescan Network

ネットワークを再スキャンします。

⑤ Export

このボタンをクリックすると「名前を付けて保存」のウィンドウが開き、ネットワーク上の全ての機器のデバイス ID および IP アドレスの設定などを CSV 形式で保存できます。保存した情報は、Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアで開くことが可能です。

⑥ Proxies

この機能は、ネットワーク構成やプロキシ接続によるセキュリティ対策のために、Audio Architect によって自動的に検出されないデバイスに接続するために使用されます。

⑦ Static Routes

スタティックルートを設定し、PC とは異なるサブネット上にあるデバイスに直接接続するために使用されます。

⑧ Clear Container

選択した機器をリセットします。この操作は、[Apply Current Edits] または [Apply and Exit] をクリックした時に適用されるため、[Undo Current Edits] ボタンで変更を取り消すことが可能です。

⑨ Undo Current Edits

NetSetter グリッド内の未確定の編集内容を編集前に戻します。

⑩ Apply Current Edits

NetSetter グリッド内の未確定の編集内容を確定します。設定が更新された後、NetSetter との接続が再確立されます。

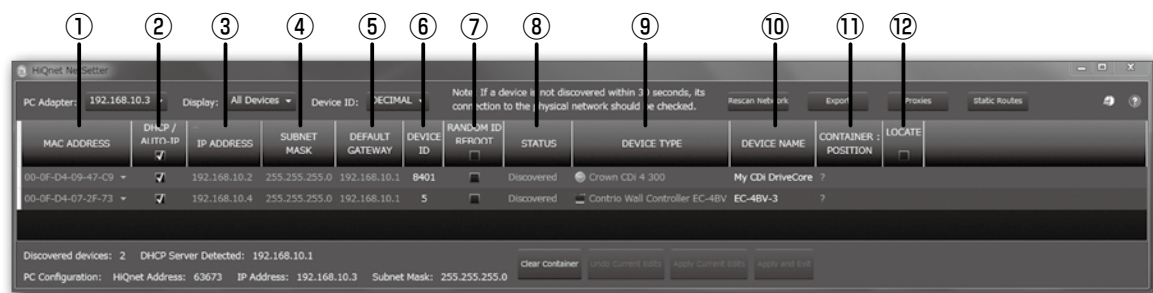
⑪ Apply and Exit

NetSetter グリッド内の未確定の編集内容を確定し、NetSetter を終了します。設定が更新された後、HiQnet 対応機器との接続が再確立されます。

NetSetter グリッド (操作ウィンドウ中央)

NetSetter グリッドは、PC がネットワーク上に検出した機器の情報を表示します。

※フィールドの値を変更したら、必ずフッターメニューの [Apply Current Edits] または [Apply and Exit] ボタンをクリックして、編集内容を適用してください。



① MAC ADDRESS

検出された機器の MAC アドレスを表示します。このフィールドは編集できません。

1 台の機器に対して複数の MAC アドレスが検出された場合 (HiQnet 対応機器 MAC アドレス、AVB カード MAC アドレスなど)、ドロップダウン・リストで表示され、接続先の MAC アドレスの選択が可能です。

2 つの MAC アドレスがネットワーク内で重複した場合、[MAC ADDRESS] フィールドは赤色で表示されます。

② DHCP / AUTO-IP

DHCP/AUTO-IP を使用する場合はチェックを入れてください。DHCP サーバーが存在しない場合は AUTO-IP (自己割当てアドレス) による IP 設定を試みます。IP アドレスを固定したい場合は、チェックを外してください。

備考 ・一番上のチェックボックスは、NetSetter グリッドに表示されている全ての機器のチェックボックスを一括でオンまたはオフにします。

・DHCP サーバーの状態は、ウィンドウの下部に表示されます。DHCP サーバーが見つからない場合、「DHCP server not detected」というメッセージが表示されます。

※値の変更後は適用するために [Apply Current Edit] をクリックしてください。

③ IP ADDRESS

検出された機器の IP アドレスを表示します。DHCP/AUTO-IP にチェックが入っている場合は編集できません。IP アドレスが競合する機器は、赤色で表示されます。IP アドレスが重複しないように設定して下さい。

備考 ・HiQnet ソフトウェアのインスタンスを実行している PC の IP アドレスは編集できません。Windows の設定を変更してください。

※値の変更後は適用するために [Apply Current Edit] をクリックしてください。

④ SUBNET MASK

検出された機器のサブネット・マスクを表示します。このフィールドは編集が可能ですが、DHCP/AUTO-IP にチェックが入っている場合は編集できません。

備考 ・HiQnet ソフトウェアのインスタンスを実行している PC の IP アドレスは編集できません。Windows の設定を変更してください。

※値の変更後は適用するために [Apply Current Edit] をクリックしてください。

⑤ DEFAULT GATEWAY

検出された機器のデフォルト・ゲートウェイを表示します。DHCP/AUTO-IP にチェックが入っている場合は編集できません。

備考 ・HiQnet ソフトウェアのインスタンスを実行している PC の IP アドレスは編集できません。Windows の設定を変更してください。

※値の変更後は適用するために [Apply Current Edit] をクリックしてください。

⑥ DEVICE ID (HiQnet ADDRESS)

検出された機器のデバイス ID を表示・変更します。デバイス ID が重複しないように設定してください。検出された機器のデバイス ID が競合している場合、デバイス ID が赤色で表示されます。

デバイス ID を表示できない場合は、ダッシュ (-) が表示されます。

備考 ・IP レベルで検出できない機器 (無効な IP アドレスなど) は、デバイス ID を報告できません。その場合、デバイス ID フィールドに「?」が表示されます。これは、該当の値が存在する可能性はあるものの、確認できないことを表します。

⑦ RANDOM ID REBOOT

デバイス ID をランダムに割り当てたい場合、RANDOM ID チェックボックスをオンにします。現在の変更内容を適用する前にチェックボックスをオフにすると、元のデバイス ID に戻ります。

備考 ・一番上のチェックボックスは、NetSetter グリッドに表示されている全ての機器のチェックボックスを一括してオンまたはオフにします。

※値の変更後は適用するために [Apply Current Edit] をクリックしてください。

⑧ STATUS

機器の現在の検出ステータスを表示します。このフィールドは編集できません。

検出ステータスは、以下のとおりです。

1. Discovered

固有の IP アドレスと固有のデバイス ID が設定されており、アクセスは制限されていない状態です。緑色で表示されます。「Discovered」の条件は以下のとおりです。

- ・ MAC アドレス・レベルで検出可能である。
- ・ 有効かつ固有の IP アドレスが設定されている（手動設定または DHCP/AUTO-IP）。
- ・ 固有のデバイス ID が設定されている。
- ・ アクセスが制限されていない。

2. IP conflict

IP アドレスが競合しています。このエラーは、青色で表示されます。「IP conflict」の条件は以下のとおりです。

- ・ MAC アドレス・レベルで検出可能である。
- ・ NetSetter によって既に検出された別の機器と IP アドレスが競合している。

※ IP アドレスが重複しないように設定してください。

3. HiQnet conflict

固有の IP アドレスは設定されていますが、デバイス ID が競合しています。このエラーは赤色で表示されます。「HiQnet conflict」の条件は以下のとおりです。

- ・ MAC アドレス・レベルで検出可能である。
- ・ 有効かつ固有の IP アドレスが設定されている（手動設定または DHCP/AUTO-IP）。
- ・ 別の機器とデバイス ID が競合している。

※ デバイス ID が重複しないように設定してください。

4. Locked

固有の IP アドレスと固有のデバイス ID が設定されていますが、アクセスは制限されています。黄色で表示されます。「Locked」の条件は以下のとおりです。

- ・ MAC アドレス・レベルで検出可能である。
- ・ 有効かつ固有の IP アドレスが設定されている（手動設定または DHCP/AUTO-IP）。
- ・ 固有のデバイス ID が設定されている。
- ・ アクセスが制限されている。

備考 ・ 機器が Locked 状態で検出され、いずれかのフィールドを編集する場合、Admin パスワードの入力を要求されます。

5. Discovering...

IP 設定またはデバイス ID などが変更されており、NetSetter が接続の再確立を行っている状態です。再検出中の機器は薄いグレーで表示されます。「Discovering...」の条件は以下のとおりです。

- ・ 以前に少なくとも MAC アドレス・レベルで検出されている。
- ・ 1 つ以上のフィールドが編集されている。
- ・ [Apply Current Edits] をクリックし、機器の再検出中である。

⑨ DEVICE TYPE

検出された機器クラス名を表示します。このフィールドは編集できません。

各機器クラス名の左側にブランド・アイコンが表示されます。HiQnet ソフトウェア (System Architect、Performance Manager、London Architect、Audio Architect のいずれかのインスタンス) を実行している PC の場合、そのソフトウェア・アプリケーション名が表示されます。

備考 ・ 無効な IP アドレスやデバイス ID の競合などで検出できない機器は、クラス名を報告できません。その場合、DEVICE TYPE フィールドに「？」が表示されます。これは、該当の値が存在する可能性はあるものの、確認できないことを表します。

⑩ DEVICE NAME

検出された機器名（ユーザー編集可能）を表示します。

備考 ・ 無効な IP アドレスやデバイス ID の競合などで検出できない機器は、機器名を報告できません。その場合、DEVICE NAME フィールドに「？」が表示されます。これは、該当の値が存在する可能性はあるものの、確認できないことを表します。

※ 値の変更後は適用するために [Apply Current Edit] をクリックしてください。

⑪ CONTAINER: POSITION

検出された機器のコンテナおよび位置情報を表示します。このフィールドは編集できません。

検出された機器が HiQnet ソフトウェア (System Architect、Performance Manager、London Architect、Audio Architect いずれかのインスタンス) を実行している PC の場合、このフィールドは空白のままです。

[Clear Container] ボタンを押すと、選択されている機器のコンテナおよび位置情報を消去します。消去は編集内容の適用時に実行されるため、[Undo Current Edits] ボタンで変更を取り消すことが可能です。

⑫ LOCATE

[LOCATE] をクリックすると対応する機器がロケート状態になり、LOCATE アイコンが表示されます。

- ・ アクティブな LOCATE アイコンをクリックすると、ロケート状態がオフになります。
- ・ ロケート状態をオフにすると LOCATE アイコンが消えます。
- ・ 同時に複数の機器のロケートが可能です。

ネットワークの構築

Audio Architect で HiQnet 対応機器の設定を行うには、機器と PC を同一ネットワークで接続する必要があります。物理的に接続されているのに Audio Architect で機器を検出できない場合、ネットワークが正しく構築されていない可能性があります。この「ネットワークの構築」を参考に問題解決してください。

はじめに、HiQnet 対応機器と PC が物理的に正しく接続されているかチェックしてください。

- ・ 機器にある ETHERNET ポートと、PC の LAN ポートを確実に接続してください。
- ・ スイッチングハブなどを経由している場合は一度外して、本機と PC を直接接続してください。

注意 ・ BLU link ポートは音声伝送用のポートですので、PC と接続できません。

HiQnet 対応機器と PC の IP アドレス帯を同一にする

機器と PC は同じ IP アドレス帯に設定する必要があります。

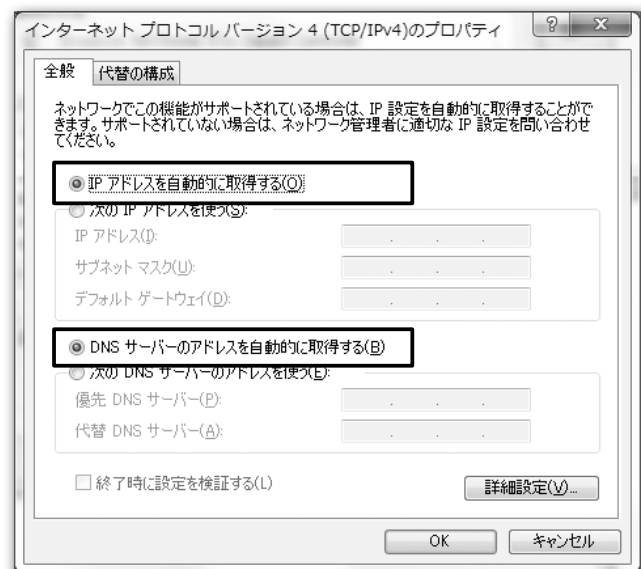
IP アドレスの設定方法は大きく分けて 3 つ (固定 IP アドレス、DHCP 取得アドレス、自己割り当てアドレス) あります。いずれの方法も有効ですが、スムーズに設定を完了するため、**まずは DHCP 取得アドレスや自己割り当てアドレスで IP アドレスを設定してください** (後で固定 IP アドレスに変更できます)。

PC の設定手順

1. Windows の [コントロールパネル] を開きます。
2. [ネットワークと共有センター] > [アダプターの設定の変更] > [ローカルエリア接続] を確認します。
3. [ローカルエリア接続] のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を表示します。
4. [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] を押します。
5. [IP アドレスを自動的に取得する]、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択し、[OK] を押します。

以上で PC の設定は完了です。次に本機の設定を確認します。

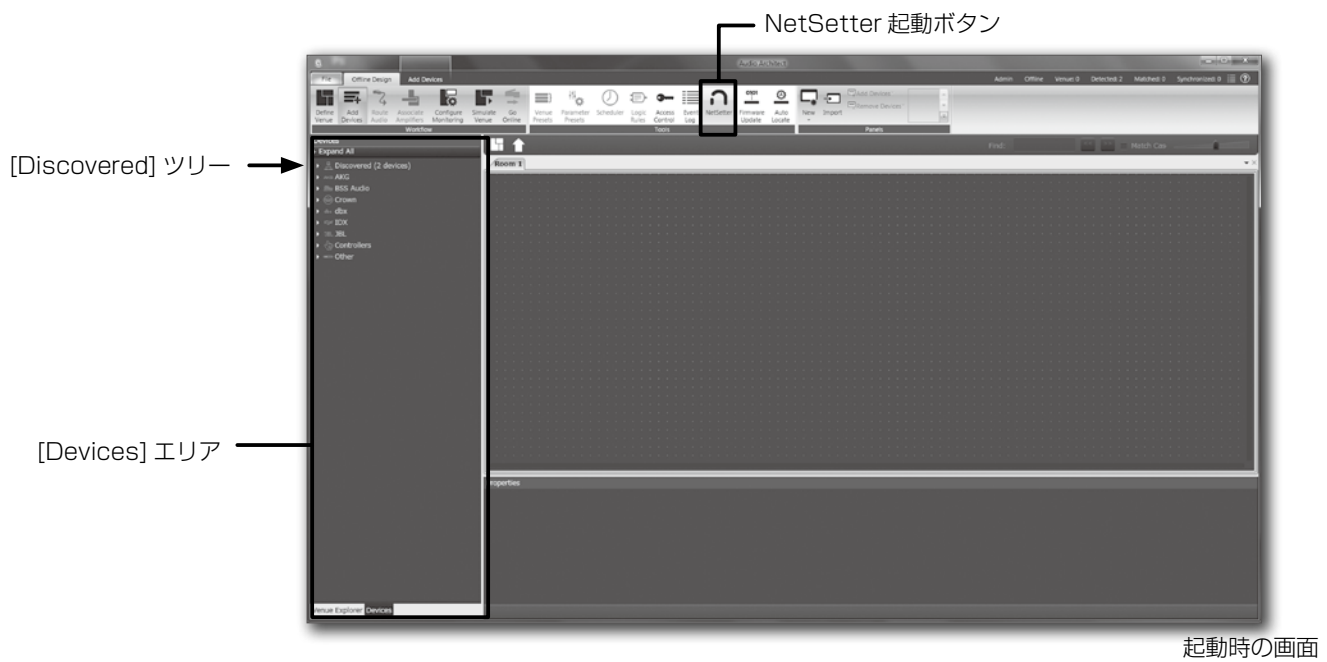
備考 ・ ご使用の PC によっては設定の手順が異なる場合があります。



ソフトウェアの起動

Audio Architect は起動時に、ネットワーク内の HiQnet 対応機器をスキャンします。

Audio Architect で機器が正しく検出できた場合、画面左側の [Devices] エリアの [Discovered] ツリー内に、ネットワーク内で検出された全ての機器が表示されます。[Discovered] ツリー内に機器が表示されていない場合、ネットワークに正しく接続されていない、もしくは Network Connectivity の設定や IP アドレス等が間違っている可能性がありますので、NetSetter を使用して問題を解決してください。



固定 IP アドレスに変更する

システムの運用上固定 IP アドレスを使用したい場合は、前述の手順で一度ネットワークを構築して機器の認識が正常に行われた後に、IP アドレスを固定に変更してください。

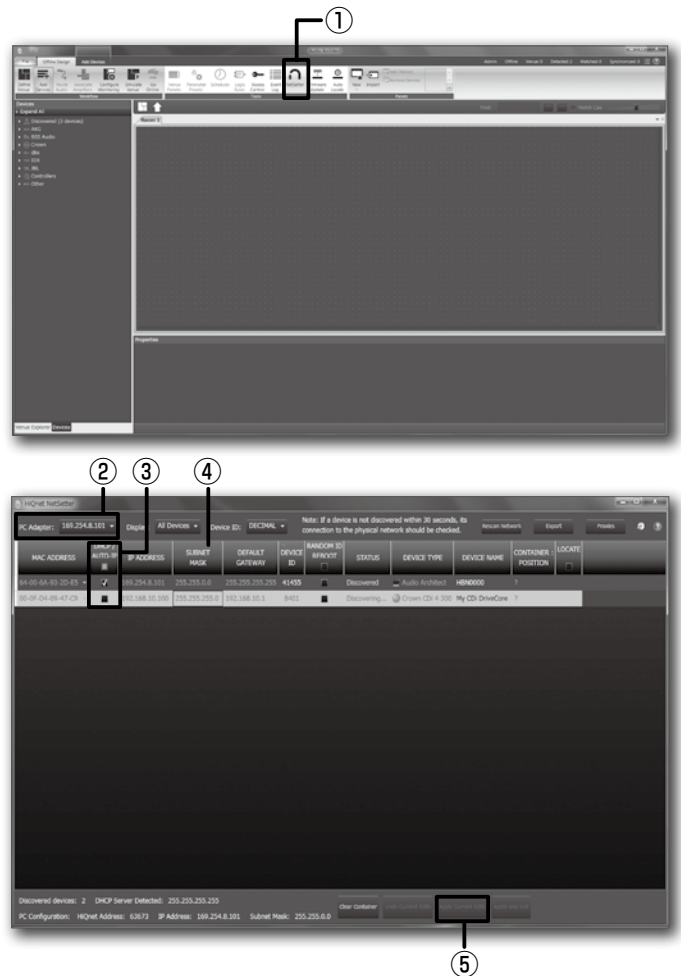
NetSetter で IP アドレスを編集する

1. NetSetter を起動します。
2. 左上の [PC Adapter] の項目を確認してください。ループバックアドレスはなく、使用するイーサネット・インターフェースの IP アドレスが表示されているのを確認してください。
3. 該当する機器の [DHCP/AUTO-IP] のチェックを外します。
4. [IP ADDRESS] と [SUBNET MASK] の項目を編集します。
・右の図は例として、IP アドレスを「192.168.10.100」、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定しています。
5. 「Apply Current Edits」を押すと、編集内容が確定し反映されます。
※ IP アドレス帯が違う場合、[Discovering...] になります。

以上で機器の設定は完了です。次に PC の設定を確認します。

備考

- ・ DEFAULT GATEWAY の入力は通常は不要です。必要な場合はネットワーク管理者にご相談ください。
- ・ 正しく検出できない場合は、NetSetter の [PC Adapter] の項目が正しく選択されているか確認してください。ループバックアドレスは通常「127.0.0.1」と設定されています。これは自分自身(使用中の PC)を指す特殊な IP アドレスで、外部との通信には使用できません。

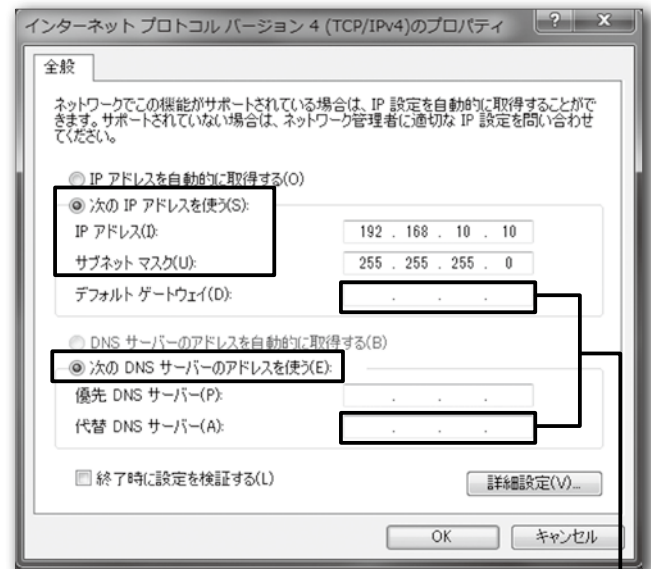


PC の設定手順

1. Windows の [コントロールパネル] を開きます。
2. [ネットワークと共有センター] > [アダプターの設定の変更] > [ローカルエリア接続] を確認します。
3. [ローカルエリア接続] のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を表示します。
4. [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] を押します。
5. [次の IP アドレスを使う] を選択し、使用したい IP アドレスを入力します。[OK] を押します。
・右の図は例として、PC の IP アドレスを「192.168.10.10」、サブネットマスクを「255.255.255.0」として設定しています。
・再度 NetSetter で確認し、[Discovered] になっていることを確認してください。

備考

- ・ IP アドレスは全ての機器で重複しないようにしてください。



※空欄でも構いませんが、デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用する場合は、ネットワーク管理者に相談してください。

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

HIBINO

<https://www.hibino.co.jp/>
E-mail: marketing@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div.

営業部
〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20

大阪プランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8

名古屋オフィス
〒454-0811 愛知県名古屋市中川区三ツ池町2-20

福岡プランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6